



寺嫁まめこの通信

ひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。毎月ほぼ8日に発行

VOL.7 (令和元年5月発行)

こんにちは！新元号になって初めてのまめこ通信です！といっても、内容はいつもと変わりませんが(^^;さて、まめこ通信2号で東光寺境内にある菩提樹についてご紹介しましたが、4月終わりから日に日に新しい葉をつけ、モリモリ大きくなっています。今号ではこの菩提樹の「花」について書きたいと思います。仏教とあんまり関係ないかもと思いきや…！？最後までお読みくださいー!(^^)!

東光寺の菩提樹、見に来てね～

インド菩提樹、中国菩提樹、西洋菩提樹。

それぞれの花・花・花♪



なぜ「花」について書こうと思ったか？理由は3つ！

- 理由1 6月初旬に東光寺の菩提樹(中国菩提樹)は満開を迎えます。早めにお知らせして多くの人に見てほしいと思ったから。
- 理由2 知人が、「リンデンバウムがここで見られるなんて！」と驚いたことがありまして、「ん？そういう別名があるのか？」と思い少し調べたから。
- 理由3 お釈迦さまが悟りを開かれたときに座っていたという、インド菩提樹も花が咲くのかな？と思ったから。

こんな花が咲きまーす！

※本当は写真がいいのですが、著作権とかあると思ひまして、自作の絵で失礼いたします(^^;

中国菩提樹の花

東光寺の菩提樹はこちらの小さくてかわいい黄色い花です。いい匂い！

西洋ボダイジュの花

知人が「リンデンバウム」と言ったのがこちらのアロマテラピーの精油やハーブティーにも使われるそうです。

インド菩提樹の花

緑色の実のようなものの中に小さい花がたくさんあり、外から見ることはできません。イチジクを思い浮かべていただくとわかりやすいです。

この形、お寺によくあるアレと似ていると思いませんか？そう！右の写真！『宝珠(ほうじゆ)』といいます。珠の中に宝である仏様の教えがつまっています。私たちの体の中にも仏様のような心、まさに宝がつまっています。

インド菩提樹の花が宝珠にそっくりなことに不思議な縁を感じてしまいました^_^

